

小中合同保護者説明会を開催しました

平成28年度を迎えて、学校も人事異動に伴う新体制となり、「平成29年度から広田小学校6年生が広田中学校敷地内で学習する」ことに関する小中合同保護者説明会を4月20日（水）に開催しました。佐世保市教育委員会にも出席していただき再度方針を確認し、現在の進捗状況の説明及び質疑応答が行われましたので、その概要をお知らせいたします。

1 基本的な方向性について

平成29年4月から、広田小6年生を中学校敷地に建設する新校舎に移し、「小中一貫型小学校・中学校」（それぞれに校長を配置）としての小中一貫教育を行います。

○ 平成29年4月から「小中一貫型小学校・中学校」としての小中一貫教育を目指します。

① 児童数増に伴う小学校施設飽和状態解消のため小6児童の教育を中学校敷地で行う。

② 修業年限

・小学校6か年、中学校3か年の教育の在り方を維持。

・小6修了時に卒業式、中1進学時に入学式を行う。

③ 小6児童は日常的に中学校敷地内で学習及び生活を行うことが基本となるので、小中間の乗入れ授業や学校行事等について小中双方向で積極的に関わりを持つ。

2 施設について

○ 中学校に新設する新校舎及びスケジュールについて（市教委から説明）

- ・鉄骨造り2階建て、概ね800平方メートルの広さ
- ・普通教室6教室、理科室（含、準備室）、男女トイレ
- ・1月中旬に設計業務着手済み、6月末設計業務終了予定
- ・7月中旬～9月中旬 杭工事、9月上旬～2月下旬 新築工事
- ・新校舎出入口・・・4つの出入口を設ける予定



○ 小学校の施設について

- ・トイレ、水道、体育館使用等について余裕が出てくる。体育は1時間あたりのクラス数が減り、これまでより運動量が確保できる。集会の練習等についても行いやすくなる。
- ・6年生が移動して空いた分の教室をどう有効に生かすかを考える必要がある。（特別支援学級の増設、4年生以下の理科室活用、3年生の音楽室活用、空いた分の教室を特別教室として活用する等。）

3 小中連携推進会における専門部会の協議内容及び対応（案）

○ 子どもの負担・リーダーの育成・教育効果・子どもの満足感や達成感等の視点で考えて、子どもたちにとってより良い方向性はどのようなものかということを第一に考えて検討しています。

※ 詳細は裏面を参照（運動会以外については、基本的にこの方向で実施予定）

※ 運動会については、今後も検討を行う。

・6年生にとって大きな負担とならないように配慮する。

・今年度の小学校運動会では、5・6年生それぞれに活躍の場面を設定し、次年度につなぐ。

4 今後の説明会の予定

【 ①7月（夏休み前） ②10月（前期末） ③1月～2月（入学説明会） 】

《週時程・日課・授業時間》（案）

○開始 8:15 終了 16:45

○一単位時間・・・小45分、中50分授業 ノーチャイム

＜小6＞

健康観察等	8:15～8:25
朝の活動	8:25～8:40
学習準備	8:40～8:50
1校時	8:50～9:35
2校時	9:45～10:30
3校時	10:45～11:30
4校時	11:45～12:30
給食	12:30～13:10
昼休み	13:10～13:55
掃除	13:55～14:10
5校時	14:15～15:00
6校時	15:10～15:55
下校指導	15:55～16:15
諸活動・会議等	16:15～16:45
水曜・5校時	13:55～14:40
クラブ	15:00～16:00

＜中学校＞

出欠確認	8:15～8:20
朝読書	8:20～8:30
朝の会	8:30～8:40
	8:45～9:35
	9:45～10:35
	10:45～11:35
	11:45～12:35
	12:40～13:10
	13:10～13:55
	13:55～14:10
	14:15～15:05
	15:15～16:05
	16:10～16:20
	16:20～16:45

※小1～小5の日課は、これまでとほぼ同じとする。

※小中学校ともに水曜日は掃除をカットする。

※6年生は、年間計画にもとづいて、水曜日の5校時終了後に小学校へ移動し、4・5年生とクラブ活動を実施する。その後、小学校で下校。16:10から小学校職員の打合せ等も可能。



【組織運営部】

検討項目		対応（案）
◇組織に関すること		
①	教職員の勤務時間	小中同じとする【８：１５～１６：４５】
②	校務分掌	必要に応じて、小学校担当も中学校に割り振る。
③	担任の在り方	基本的に小学生は小学校教諭、中学生は中学校教諭が担任する。
④	小中乗り入れ授業 等	実施可能教科を検討中。人員配置により可能教科も変わる可能性あり。また、教育課程特区申請もあり得る。
⑤	職員会議の在り方	基本的に同席する。小中併設校に準ず。
◇教育課程		
①	週時程、日課表、授業時間	小 45 分、中 50 分授業 ノーチャイム（表面参照）
②	チャイム	精選して必要分（共通部分）に制限する。
③	定期テスト	小 6 は基本的に行わない。 しかし、1 月以降は中学校へのつなぎとしての実施も視野。
④	水泳指導	プール使用時間割を作成し、中学生の授業と並行して実施。 中学校はその後実施。
◇授業連携		
①	研究授業	合同で行う。研究テーマは共通が望ましい。
②	学習のきまり	系統性を考慮し、統一が望ましい。
③	交流学习	可能な限り交流を図る。
④	小中間の移動	基本的に「必修クラブ」の日。月に 1 回。 その他、小学校行事の必要に応じて。
◇施設に関すること		
①	6 年生校舎	中学校敷地内に増設（理科室含む 7 教室＋トイレ）。
②	職員室	同一とする。
③	放送機器・電話回線	現中学校施設の校内放送で対応、内線電話は 1 つ設置。 赤電話（非常用電話）は設置
④	児童用更衣室	29 年度は 5 学級を想定しており、空き教室を利用する。
⑤	体育用備品（ゴール、鉄棒等）	中学校既存を活用。必要分については小学校から移設。
⑥	教壇または踏み台	不要。小 6 理科室は昇降用黒板設置。
⑦	図書関係（司書配置、蔵書の種類）	H28 学校司書が小中兼務、小 6 分は選定し移設及び新規購入。

【教育活動部】

	検討項目	対応（案）
◇学校行事		
①	小 6 始業式	小学校へ登校し， 5 年の教室へ入り， クラス編制をする。 始業式に参加。中学校への出発式（仮称）を行い， 中学校へ。 中学校で顔合わせ式（仮称）を行う。
②	小 1 入学式	小 2， 小 5 が参加。小 6 は， 中学校舎で通常授業。 小学校 1 年生との交流学年は， 5 年生とする。
③	中 1 入学式	小 6 は参加しない。通常授業。
④	小 6 卒業式	小学校体育館で実施 小 6， 小 5 が参加
⑤	中 3 卒業式	小 6 は参加しない。午前中授業（給食がない）
⑥	歓迎遠足	小 6 は中学校で参加
⑦	避難訓練	小 6 は中学校で参加
⑧	中学校合唱コンクール・マラソン大会	小 6 も参加。2 8 年度は， 小 5， 6 で参観
⑨	運動会	A 案・・・小 1 ～小 6 で実施 B 案・・・小 1 ～小 5 で実施。小 6 は中学校体育大会に参加。 C 案・・・平成 2 9 年度， 小 6 は小学校でも中学校でも参加。 実施方法については， 要検討。
◇生活・生徒指導		
①	校内生活のきまり	小 6 は中学校に準ず 体操服・上履きは， 小学校のものを着用。 体育館シューズについては， 購入をお願いする。
②	服装	小学校に準ず（私服、ランドセル）
◇特別活動		
①	生徒会・児童会、委員会活動	小 6 は中学校で実施。小学校は， 小 5， 小 4 で活動とする。
②	必修クラブ活動	小学校で実施。年間 1 0 回程度
③	集会活動等	中学校に準じる。内容によっては小学校にも参加。
◇特別支援教育		
①	6 年生在籍者の取り扱い	小 6 特支担任配置を要望。教室は要検討。
◇保健・体育・給食		
①	保健室運営	中学校に準ず
②	保健行事（検診）	中学校で実施。小学校養護教諭との連携
③	給食時間	別紙日課表のとおり
④	配膳室	中学校既存で対応
⑤	プール管理等	中学校担当で対応
◇部活動・社会体育クラブ活動		
①	社会体育	現在の体制を最大限尊重・維持
②	部活動	社会体育及び現存の活動に支障のない範囲で募集・体験は可

説明会での主な質疑応答・ご意見の内容

Q 1. 現在の4年生に対して、リーダー性の育成について何か方策を講じているのですか？

A. 29年度には4年生は小学校施設の最高学年となるので、高学年の活動の様子を学ぶ場面を設定していかなければならないと考えています。(小学校)

Q 2. 新しく建設される校舎は、理科室を含めて8教室ということでよいのでしょうか？

A. トイレも含めて8教室分の広さということであり、実際には理科室を含めて教室は7教室分となります。(市教委)

Q 3. 子どもたちには、小中連携について話（説明）を行う等、意識付けを行っているのですか？

A. 年度末に校長から全校集会で説明を行いました。今年度はまだ説明は行っていません。(小学校)
中学校についても年度末に簡単に説明をしています。中学生については、特別に身構えているような雰囲気はありません。(中学校)

Q 4. トイレの数は子どもたちの数に対して十分に足りるのですか？

A. 男子トイレは小便器を5つ、大便器はすべて洋式で2つ（うち、1つは多目的トイレ）、女子トイレについては、2つを和式、4つを洋式の計6つで予定しています。数については、標準的な小学校の児童生徒のクラス数を用いて計算しています。(市教委)

Q 5. 小学校の人数が減って教室が足りるようになって、6年生が中学校で授業を受けることを続けるということで、小学校と行き来することについてのデメリットを感じるのですが？

A. 教育課程としては小学校6年、中学校3年を維持していきますので、学習保障は今までどおり確実になされます。また、6年生の移動に関しては、クラブ活動で月1回程度を考えていますが、それに加えて学校行事が考えられます。中学校としては、受け入れるからにはメリットを最大限出せるよう努力する所存であります。そして、「6年生が中学校に来てよかったね。」と言われるように、30年度につなぐことが責任であると考えています。(中学校)
教育委員会としてもメリットが出るような形で、学校を精一杯支援していきたいと考えています。そして、検証しながら改善点をいい方向につなげられるようにしていきたいと思います。(市教委)
現段階で、平成33年度は1,003名の児童数予想を立てています。従って、当分の間は1,000名を下らない児童数であると思われます。更に宅地開発が進めば、児童数は増えることも考えられます。(小学校)

Q 6. 現在、国においても小中一貫の流れができ始めていると思います。今回の広田小・中学校の小中一貫は「義務教育学校」という位置付けでよいのでしょうか？

A. 小中一貫教育の流れのなかで、「義務教育学校」とともに「小中一貫型小・中学校」という形もあります。それは、校長が小中両方の学校にいる形です。広田小・中学校の場合は、この「小中一貫型小・中学校」という形の中でメリットがあるようなものを目指していきたいと思います。(市教委)

Q 7. 中学校において生徒数増となり、施設が不足となった場合、どうするのですか？

A. 中学校には普通学級として使用できる学級が20教室あります。現在、15学級を使用しています。今後の生徒数推移及び例年の入学者数を見たときに、学年が6クラスになることはないのではないかと予想しており、まだ余裕があるのではないかと考えています。しかし、今後も推移を見ながら、万が一の時は、市教委に相談することになると思います。(中学校)

Q 8. 不安を持っている児童・保護者もいるので、スクールカウンセラーの活用等、精神的な部分で対処する方法は考えているのですか？

A. 保護者の皆様に対しては、できるだけ細かく説明できるように努力していきたいと考えています。また、子どもたちに対しては、集会等で校長から話をしていく場が必要であると考えています。スクールカウンセラーについては、小中同じ方にほぼ毎週来ていただけるようになっています。併せて、小中の教職員の意思疎通をしっかりと図り、今年度のうちから、子どもたちの交流が可能な部分については実施していきたいと考えています。(小学校)

Q 9. 登校班等についても今後変更になると思いますが、そのあたりも今後意見を聞いて解決していく形になるのですか。

A. 現在2つの部会において話し合いが進められていますが、今後も検討が必要な項目が出てくると思われます。登校班については、現在うまく実施されていますので、安全面はもちろん、児童の安心感を損なうことのないように、役割を5年生にシフトしていく等、ご意見を伺いながら対応を考えていく必要があると考えています。(小学校)

Q10. 校舎が完成したら、該当学年の保護者だけでも見学をさせてもらえるのでしょうか？

A. 今のスケジュールで2月末頃を完成の目処にしていますので、3月に実施できるのではないかと思います。(市教委)

Q11. 「ありがとう集会」や「広っ子祭り」等は、6年生がリーダーとして活動している大きな行事ですが、6年生の関わりについては現段階でどう考えられているのでしょうか。

A. 「ありがとう集会」や「広っ子祭り」等への6年生の対応については、現段階ではまだ話し合いを行っておりません。今後、どうすれば最も教育効果が上がるかという視点で考えていきたいと思っています。(小学校)

Q12. 新校舎建設中の騒音が心配である。ぜひ配慮してほしいと思うのですが？

A. 工事の騒音については、できる限り学校側に迷惑をかけないように配慮したいと思っています。(市教委)

Q13. 将来的に、6年生が6クラスになった時に、普通教室を全部使用してしまい、特別支援学級が確保できなくなるのではないかと考えます。教室が足りない時には、再度増築になるのでしょうか？それとも、中学校の空き教室を活用するような対応を行うのでしょうか。

A. 3年生が現在199名で、将来的に6学級になる可能性はあると思われます。予算のこともありますので、可能性が高くなれば、市教委に要望することになると思います。また、特別支援学級在籍児童につきましても、他学年といっしょに学ぶということもできますので、対応できると考えています。(小・中学校)

《ご意見》

- 各家庭でどこまで話をされているかわからないし、子どもたちもどこまで理解できているかわからないので、ぜひ5年生の児童を集めて、これまでの経過を簡単に話してあげてほしい。
- およそ一月に一回ある授業参観の機会に、5年生の保護者に対して体育館等で説明し、意見を尋ねることも一案であると思う。該当である5年生の保護者に対しての説明が足りていないように感じる。
- 5年生の保護者の方々が不安に思われていることは理解できる。しかし、「中学校ではどういうことをしてくれるんだろう」、「自分たちとどう関わってくれるんだろう」というような楽しみを持って過ごさせたいという気持ちを持っている保護者がいることもわかってもらいたい。

ご意見やご質問、ご感想等は、下欄にご記入のうえ、お子様を通じて小学校、中学校へご提出願えれば幸いです。